

令和5年度第1回下水道運営審議会 会議録

〔事務局〕 下水道経営課、下水道整備課、下水道施設担当

〔開催日時〕 令和5年4月25日（火）午後3時から午後4時まで

〔開催場所〕 伊勢原市立図書館AVホール

〔出席者〕（敬称略）

（委員） 笠原俊男会長、安藤忠勝副会長、柏崎恵理子、佐藤義一
重田芳乃、竹内裕子、田村貴寿、西村賢一、古田和恵

（欠席） 栗原誠人、松原沙織、三野泰宏

（事務局） 吉野雅彦土木部長、石井啓治下水道担当部長
佐野晃下水道整備課長、杉崎友則下水道施設担当課長
平井淳一下水道経営課長 外5名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

《諮問の経過》

〔公共下水道使用料の見直しについて諮問〕

1 市長あいさつ

2 諮問

《審議の経過》

1 開会

2 議事

（1）下水道事業の経営について

① 公営企業会計について

② 経営戦略について

③ 下水道使用料について

上記の内容について、事務局から資料に沿って説明が行われた。

【質疑応答】

(委員) 今回の説明は、下水道使用料見直し・改正に向けてのベースの考え方の説明という理解でよいか。

(事務局) 使用料改正を検討するにあたって、ベースとなる考え方や他市の状況を具体的に示しながら下水道に関する知識を深めてもらい、最終的に下水道使用料の改正率、改正の必要性に関して議論をしていただきたいと考えている。

(委員) 下水道使用料金は上水の使用量に応じて計算されているが、水道を使っていない家庭や企業などはどのようにとらえているのか

(事務局) 1件ごとに排水量を計測することは現実的ではないため、水道使用量を排水量として認定している。市では熱の冷却に使った場合や地下水を使った場合など、特殊な場合には排水量認定を行うことで、排水量の減水や増水を認めている。

(委員) 委員側で改正率何%と決めていくのか。方針を示してもらえるのか。

(事務局) 今後、複数のパターンを示していくので、それについて議論していただきたい。今回は改正率を決めることが目的ではなく、収支均衡を確保するために必要な改正率を導き出すことが主な目的である。

(委員) 経営戦略で収支均衡にするということは、経費回収率をできるだけ100%にもっていくということか。

(事務局) 目標値は必ず変える必要があり、100%と考えている。

(委員) 今後の審議の詳細な日程を来月までに示してほしい。

(事務局) 議会日程等不明な部分もあるが、暫定という形でお示ししたい。

3 その他

4 閉会